

ほん屋

2017(平成29)年7月
9号店

店主：学生図書委員3年
(照屋(寛)・照屋(友)・
屋比久・呉屋)

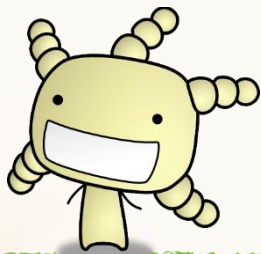
梅雨も明け本格的に夏が来ました。試験まで一ヵ月！！
これ乗り越えれば夏休みです。暑さで集中できない
時はぜひ涼しい図書館で勉強を！

※この発刊紙は、学生が作るニュース(図書館発行)です。
“ほん屋” of the students, by the students, for the students.



ドラゴンラージャ (イ・ヨンド)

本科3年
情報通信システム工学科
下地 姫羅莉



私がオススメしたい本はドラゴンラージャという本です。この本は、ドラゴンと人の関係を中心として進む物語で、主人公であるフチという青年が少しずつ大人になっていく話です。よくあるファンタジーの世界観ですが、それよりもどこかシビアで泥臭い。政治の話は絡むし、聖人なんてものは存在しないしご都合主義もないそんな世界です。人の死とは、生とは何か。哲学的な問答も散りばめられた話は一筋縄ではいかず、何度も読み返したくなる深さ、面白さがある本です。

1～5 評価

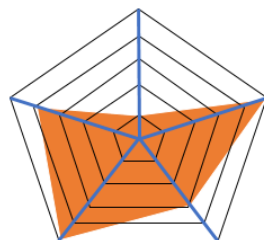
授業に役立つ

読みやすさ

人に勧めたい

もう一度
読み返したい

感動
(泣ける度)



本科3年
生物資源工学科
川満 日向子

— 評価
(1～5)

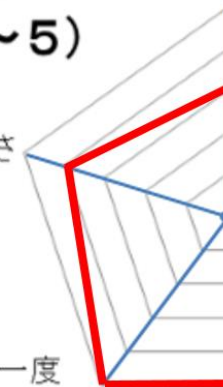
授業に役立つ

読みやすさ

人に勧めたい

もう一度
読み返したい

感動
(泣ける度)



博士の愛した数式 (小川洋子)

この本は、題名の通り数学の物語です。数学、と聞くと急に読む気が失せてしまう人もいるのですが、むしろ私は数学が苦手な人にこそ読んでもらいたいと思っています。

物語の中では、博士の言葉の一つ一つから数学への愛情が感じられ読んでいるほうも、急に数学の世界が愛おしく思えてくる素敵な物語です。読めば誰もがきっと、学校の数学では感じることはできない、表情豊かな数学の世界に触れることができると思います。

この本に出会うことで自分の知らなかった新しい数学の表情に出会う人が一人でもいれば...と思います。

本の返し忘れありませんか。

延滞している本がある学生は、
早めに返却してください！
延滞した分借りれなくなります
よ！！

沖縄高専図書館の本や雑誌は、
大切な財産の一つです。

店主のつぶやき

本格的に夏です！！

「暑い…」って人はぜひ図書館に涼みに来てください。

これからも「ほん屋」をよろしくお願いします。